

計画策定の趣旨

「八尾市教育振興基本計画後期計画」とは？

令和3年（2021年）3月に策定した「八尾市教育振興基本計画」は、計画期間を8年間とし、「認め合いともに生き未来を切り拓く八尾の教育」を基本理念に掲げ、さまざまな取り組みを進めてきました。

令和6年度（2024年度）で前期計画の期間が終了することから、社会情勢の変化や本市のこれまでの取り組み状況、課題等を踏まえ、令和7年度（2025年度）からの4年間における施策の方向性を示すため、「八尾市教育振興基本計画後期計画」を策定しました。

計画の対象は、幼児教育、小学校、中学校、義務教育学校の学校教育と生涯学習なんだね。



計画を進めていくために

①連携・協力の推進

- 子育てや福祉、健康、芸術文化などの各分野や学校、家庭、地域、各種団体など多様な主体と連携し、社会全体で取り組みを進めていきます。



社会全体で、未来を担う子どもの成長を支えていくんだね。



②子どもの声を尊重した施策の推進

- 子どもの意見やニーズを把握するように努め、子どもの声を尊重しながら取り組みを進めていきます。



③進行管理及び公表

- 計画を着実に進めるために、PDCAサイクルに基づく進行管理を行い、効果的かつ効率的に取り組むを進めていきます。
- 毎年、「教育委員会点検・評価報告書」を作成し、市のホームページなどを通じて市民に公表していきます。

